

福岡県に大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

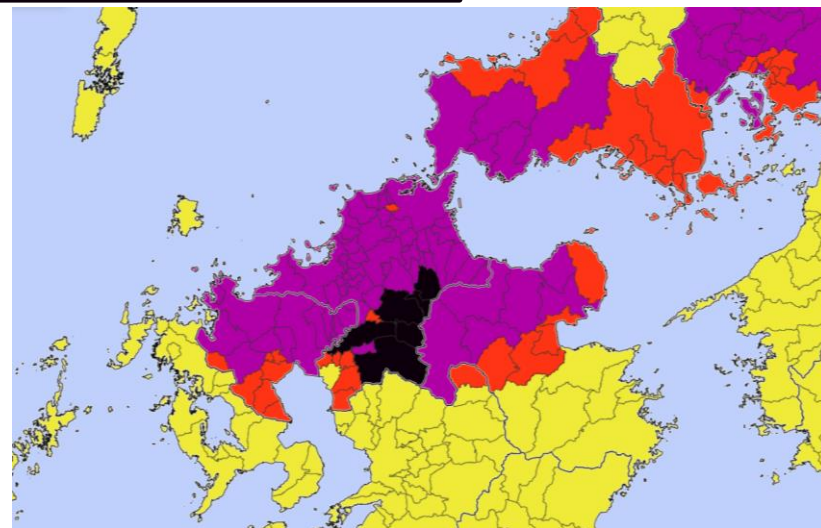
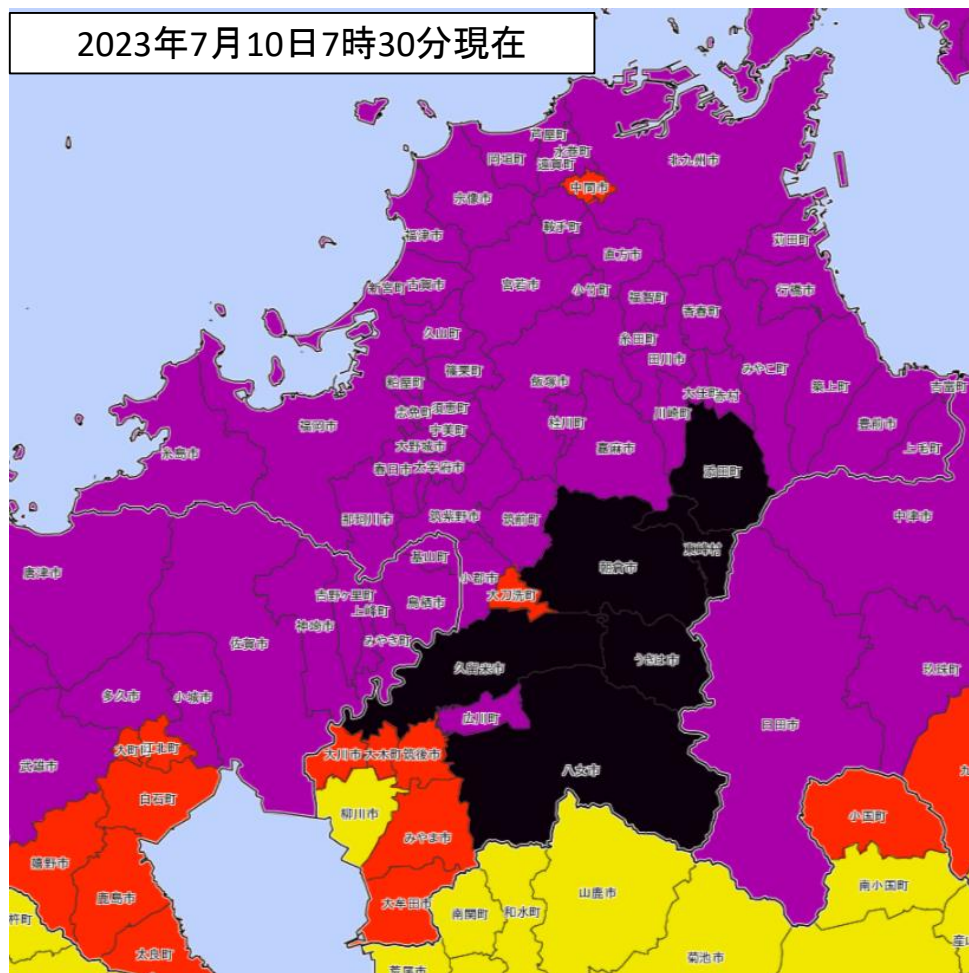
警戒 レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

福岡県に大雨特別警報発表

- 今後、他の市町村にも特別警報発表の可能性。
- 特別警報の発表を待つことなく、避難情報に直ちに従い身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度分布）」で確認

特別警報・警報の発表状況

2023年7月10日7時30分現在



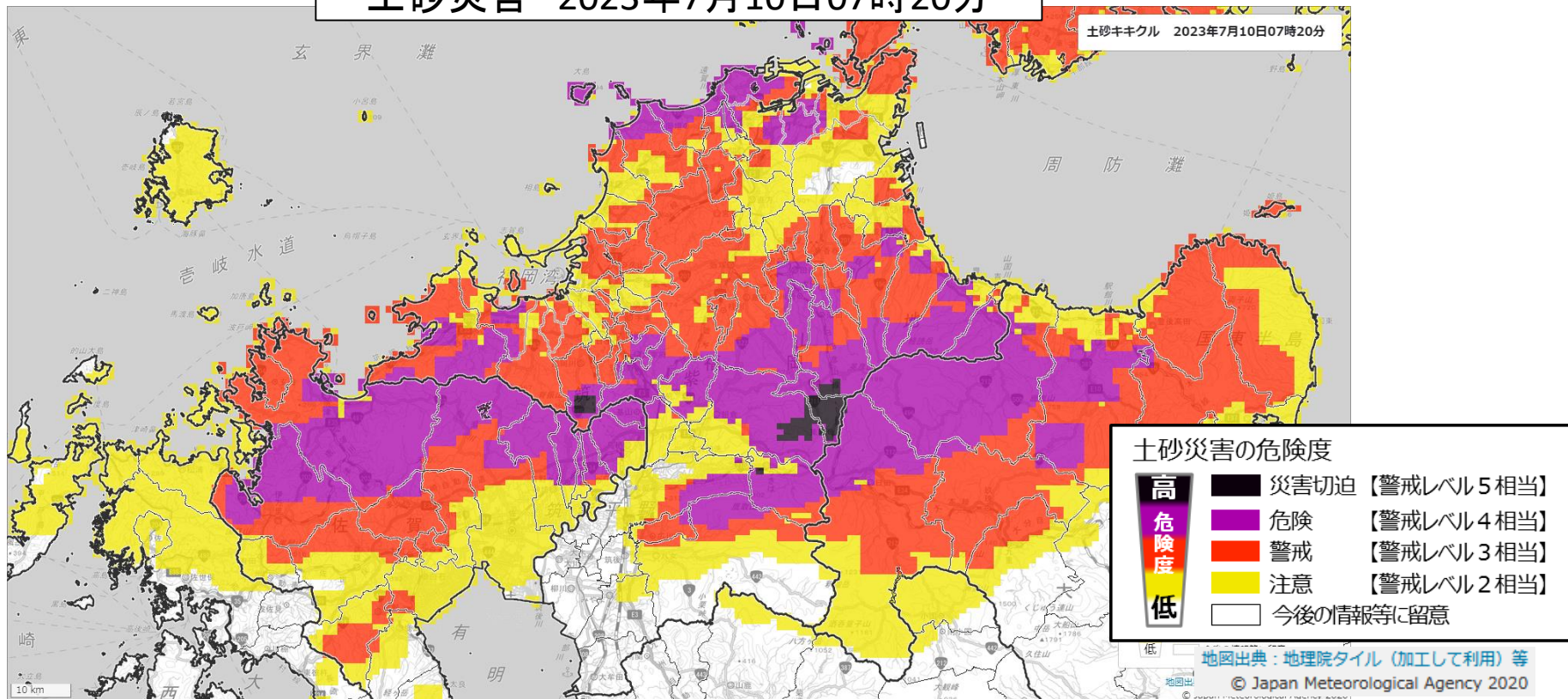
- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報
土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 発表なし
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

キキクル(危険度分布)

土砂災害 2023年7月10日07時20分

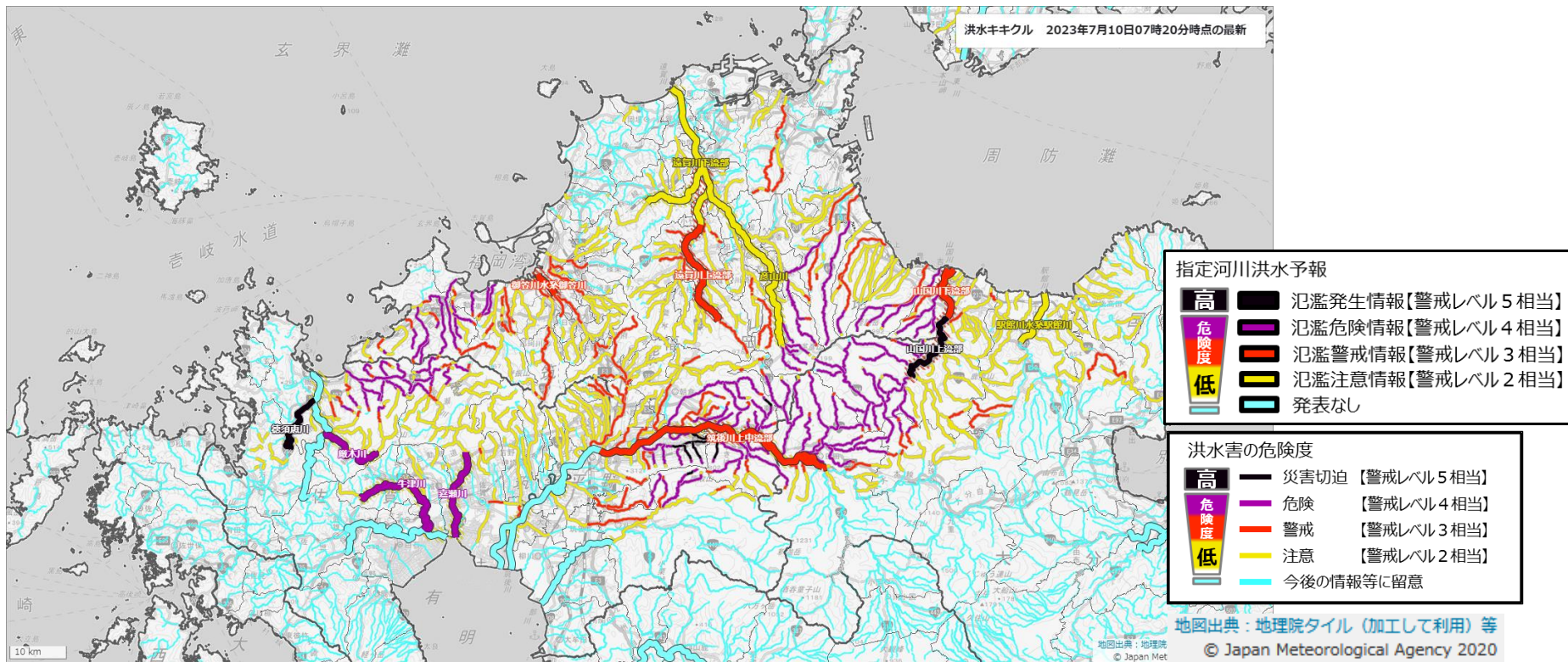


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

キキクル(危険度分布)

洪水害 2023年7月10日07時20分

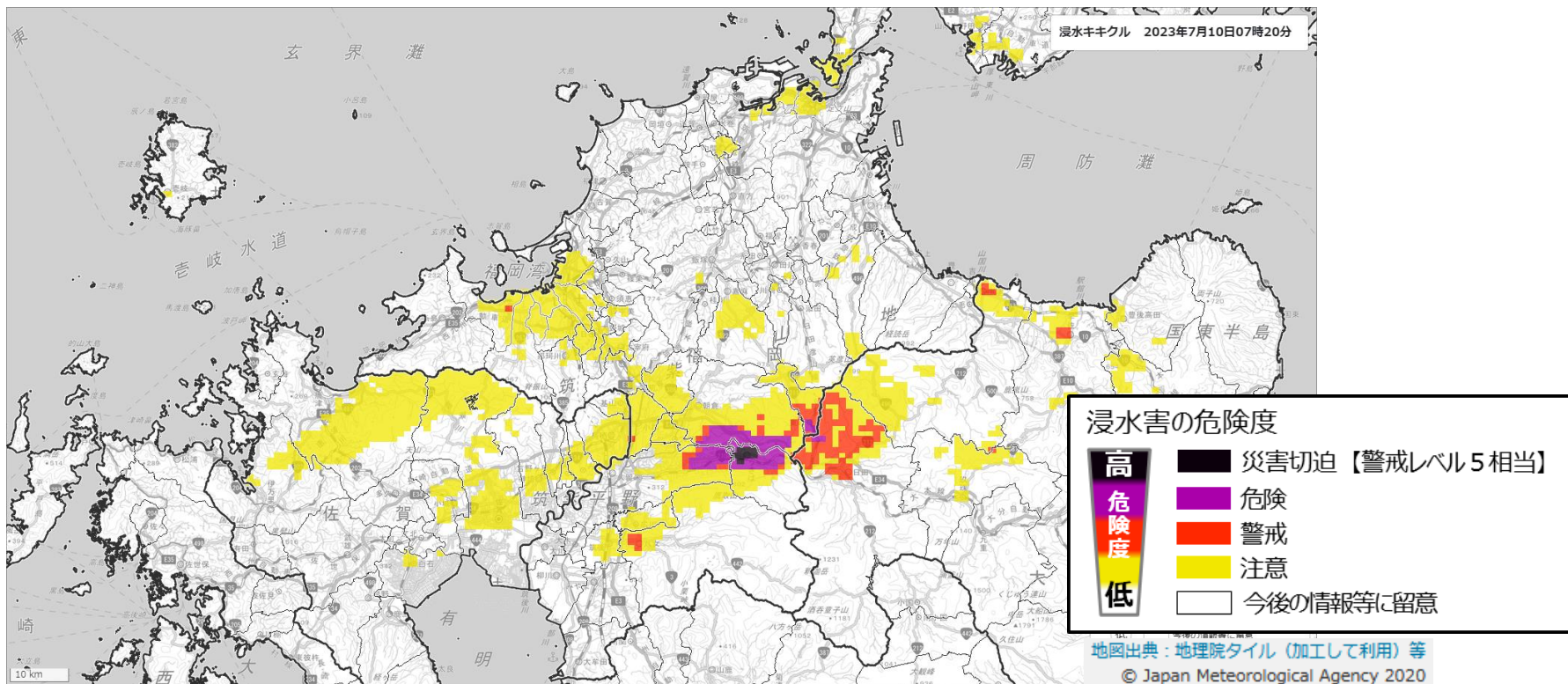


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>)

キキクル(危険度分布)

浸水害 2023年7月10日07時20分

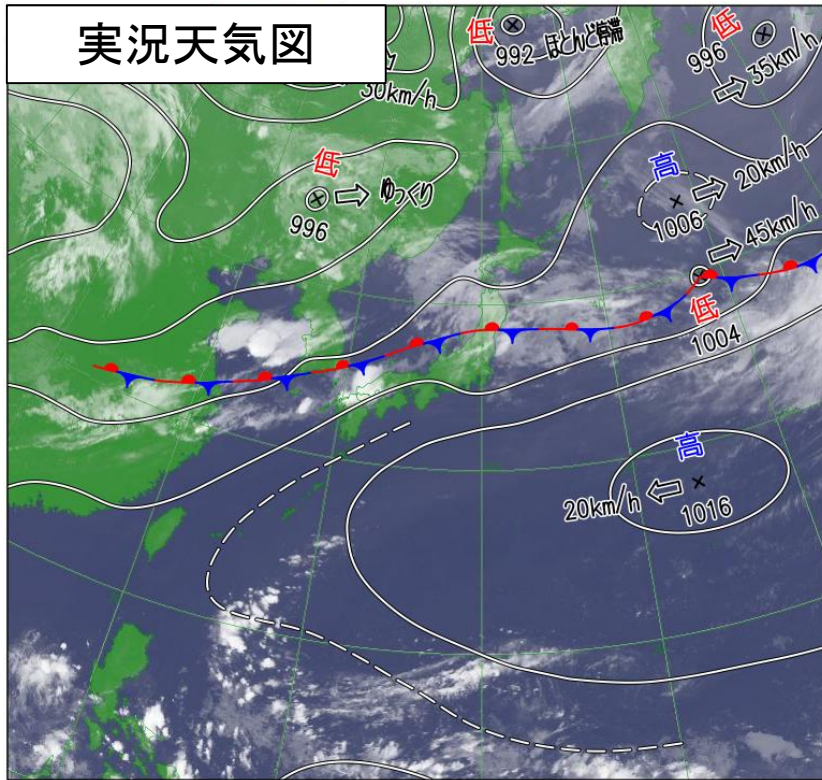


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

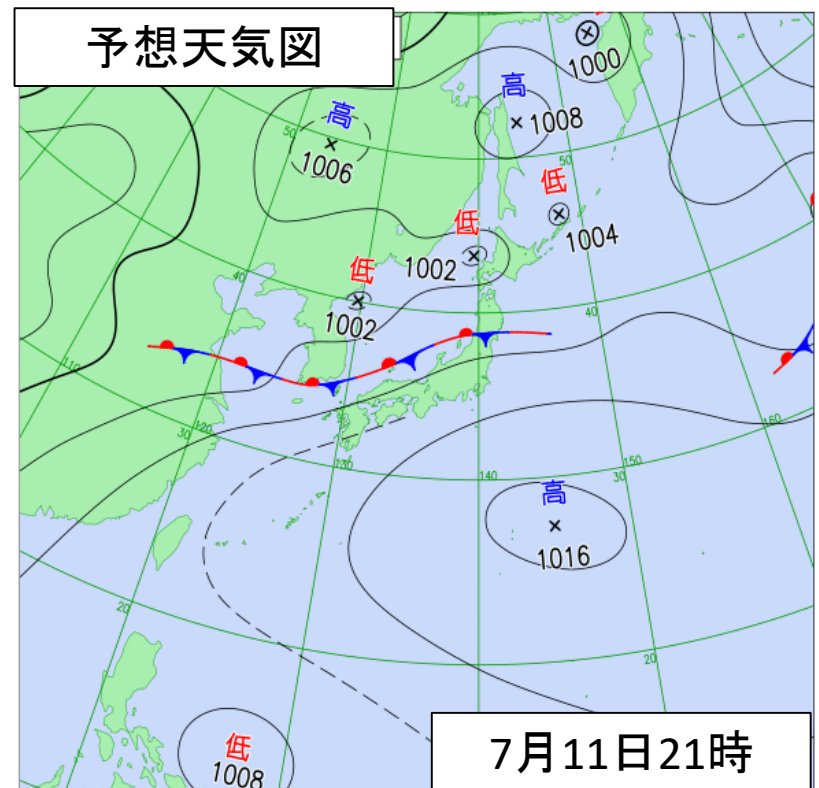
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

天気図

実況天気図



予想天気図



地上天気図
(7月10日3時)

予想天気図
(7月11日21時)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

福岡県の警報・注意報(今後の推移)

福岡県の警報・注意報（発表状況）											
2023年07月10日07時30分発表											
福岡県筑豊地方		10日						11日			備考・ 関連する現象
		06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	
大雨 (浸水)		70	50	30	30						浸水警戒
大雨 (土砂災害)											土砂災害警戒
洪水											氾濫
雷											以後も注意報級 竜巻
福岡県筑後地方		10日						11日			備考・ 関連する現象
		06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	
大雨 (浸水)		70	50	30	30	15	15				浸水警戒
大雨 (土砂災害)											土砂災害警戒
洪水											氾濫
雷											以後も注意報級 竜巻

- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 予想期間外
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

大雨の警報級となる可能性のある期間

	大雨の早期注意情報（警報級の可能性）			
	10日		11日	12日
	06-18時	18-06時	06-24時	
山口県				
福岡県				
佐賀県				
長崎県				
大分県				
熊本県				
宮崎県				
鹿児島県				

■ 大雨特別警報

■ 大雨警報の可能性が高い ■ 大雨警報の可能性がある

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の雨の予想

10日6時時点

地域	11日6時までの 24時間雨量(予想)
山口県	180
福岡県	200
佐賀県	200
長崎県	120
大分県	150
熊本県	120
宮崎県	40
鹿児島県	40

単位:ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報: <https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



気象庁防災情報
Twitter

[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁
YouTube

気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



土砂災害警戒情報



台風情報



天気図



降り始めからの総雨量

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

(参考) 大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

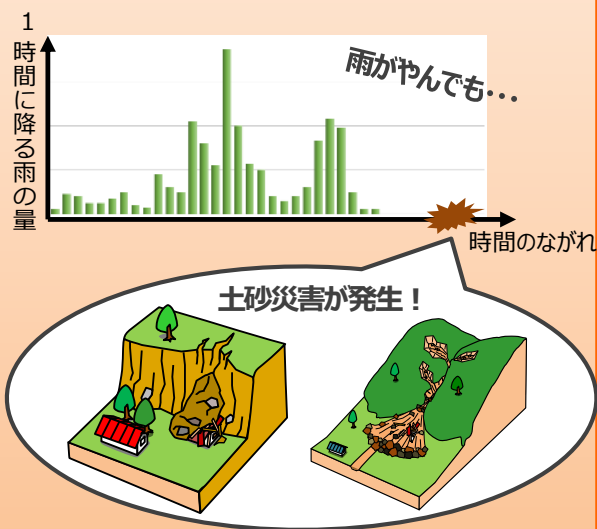


(参考) 大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

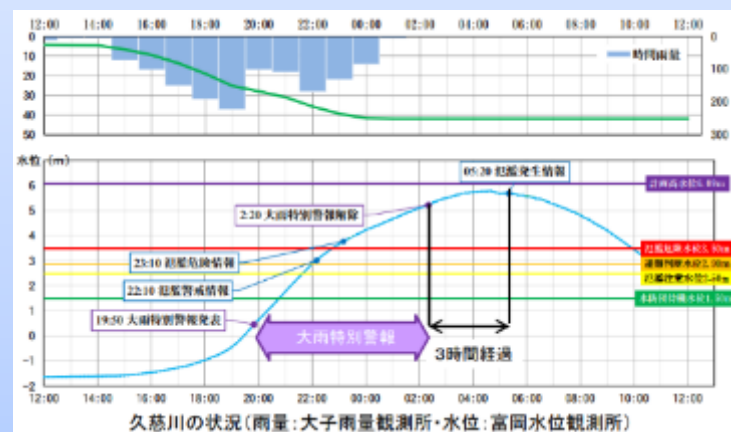
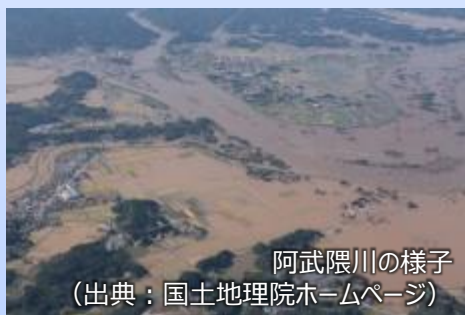
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われるような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒 レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報			キキクル (危険度分布)	相当する 警戒 レベル	
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報			災害切迫	氾濫 発生情報	5 相当
<警戒レベル4までに必ず避難！>								
4	・危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報	高潮 警戒情報	高潮 特別警報	危険	氾濫 危険情報	4 相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	大雨警報 洪水警報	※ 高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報		警戒	氾濫 警戒情報	3 相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報		高潮 注意報	注意	氾濫 注意情報	2 相当
1	災害への心構えを高める ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認		早期 注意情報 (警報級の可能性)					

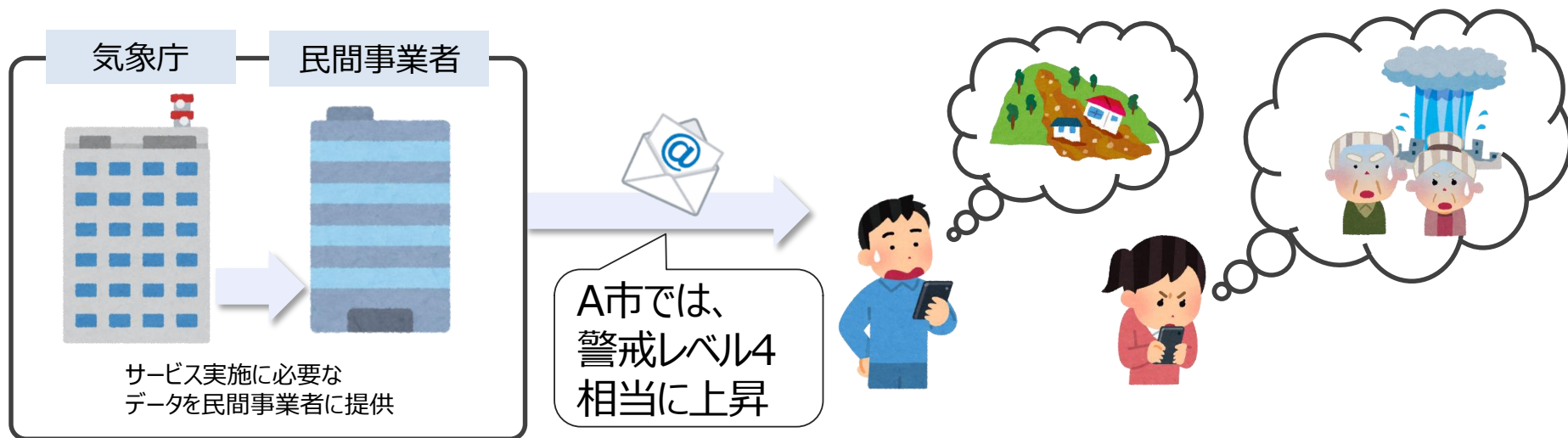
「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3 (高齢者等避難) に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

(参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立ていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

合同記者会見

令和5年7月10日の前線に伴う大雨について

令和5年7月10日（月） 8:10

国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川の増水や氾濫に厳重警戒

- 九州管内では、すでに筑後川（小石原川、城原川、巨瀬川）、山国川、松浦川（徳須江川）で氾濫が発生しています。
- その他の河川においても、氾濫の危険性が高まっています。
- 引き続き、洪水氾濫、内水氾濫、土砂災害に厳重に警戒が必要！
- 河川の水位（上昇）に応じた情報に基づき、引き続き安全な場所に留まるなど、避難指示等に従って身の安全の確保を！

氾濫が発生している河川（警戒レベル5相当） 5河川

筑後川水系小石原川、城原川、巨瀬川（国管理）

松浦川水系徳須江川（国管理）

山国川水系山国川（国管理）

他の河川でも、水位が上昇している河川や、今後水位が上昇する河川があり警戒が必要です。

氾濫危険水位超過河川（警戒レベル4相当） 30河川

筑後川水系 （国管理）筑後川、城原川、巨瀬川、小石原川、
宝満川

（福岡県管理）大刀洗川、金丸川、山ノ井川、広川

（佐賀県管理）寒水川、通瀬川、安良川

矢部川水系 （福岡県管理）横山川

遠賀川水系 （福岡県管理）中元寺川、穂波川、庄内川

松浦川水系 （佐賀県管理）宇木川、半田川

山国川水系 （国管理）山国川、（大分県管理）跡田川

※この他、佐賀県管理の玉島川、横田川、福岡県管理の室見川、那珂川、御笠川、佐井川、樋井川、一貴山川、今川、大分県管理の犬丸川においても氾濫危険水位を超過している河川があります

他の河川でも、水位が上昇している河川や、今後水位が上昇する河川があり警戒が必要です。

避難判断水位超過河川（警戒レベル3相当） 12河川

筑後川水系 （国管理）佐田川
（佐賀県管理）秋光川
（大分県管理）花月川

松浦川水系 （国管理）厳木川、

六角川水系 （佐賀県管理）晴気川、牛津川

嘉瀬川水系 （国管理）嘉瀬川

山国川水系 （国管理）山国川

※この他、福岡県管理の宇美川、瑞梅寺川、祓川、大分県管理の伊呂波川などにおいても避難判断水位を超過している河川があります

他の河川でも、水位が上昇している河川や、今後水位が上昇する河川があり警戒が必要です。

現在のダム情報（7月10日8：00時点）

九州管内の18ダムで洪水調節を実施。

< 緊急放流予定ダム >

- ・ 10日 9：30 福岡県：牛頸ダム（牛頸川）・陣屋ダム（中元寺川）
- ・ 10日 10：00 福岡県：北谷ダム（山の神川）、
水資源機構：小石原川ダム（小石原川）
- ・ 10日 9：45 水資源機構：寺内ダム（佐田川）

■ 洪水調節中ダム：18ダム

種別	水系名	河川名	ダム名	所在県
直轄	山国川水系	山移川	耶馬溪ダム	大分県
直轄	松浦川水系	厳木川	厳木ダム	佐賀県
直轄	嘉瀬川水系	嘉瀬川	嘉瀬川ダム	佐賀県
機構	筑後川水系	佐田川	寺内ダム	福岡県
機構	筑後川水系	小石原川	小石原川ダム	福岡県
補助	那珂川水系	那珂川	五ヶ山ダム	福岡県
補助	多々良川水系	鳴湊川	鳴湊ダム	福岡県
補助	御笠川水系	牛頸川	牛頸ダム	福岡県
補助	祓川水系	祓川	伊良原ダム	福岡県
補助	筑後川水系	山口川	山神ダム	福岡県
補助	那珂川水系	那珂川	南畑ダム	福岡県
補助	今川水系	今川	油木ダム	福岡県
補助	御笠川水系	山の神川	北谷ダム	福岡県
補助	筑後川水系	巨瀬川	藤波ダム	福岡県
補助	遠賀川水系	中元寺川	陣屋ダム	福岡県
補助	遠賀川水系	八木山川	力丸ダム	福岡県
補助	松浦川水系	伊岐佐川	伊岐佐ダム	佐賀県
補助	松浦川水系	町田川	平木場ダム	佐賀県